



たいぎ 議会だより

No.193

2023
令和5年
7月発行

- 第2回定例会**
一般会計予算11億5,787万2,000円を追加補正…P2～3
- 一般質問**
7名の議員が9項目を問う……………P6～10

「子どもの遊べる公園について」「宿泊施設不足の解消と企業誘致の環境整備について」など

尾田認定こども園のプール学習での1枚。
ピカピカのプールで今年初めての泳ぎを
楽しんだ園児たち。みんな上手に泳ぐこ
とができましたね。

発行／北海道大樹町議会
編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

がるまちづくりのための 予算を追加補正

条例の一部改正
や補正予算など
28件を審議！！

条例の一部改正

大樹町乳幼児及び児童医療費助成に関する条例の一部改正

10月1日より子どもの医療費助成対象を満18歳まで拡大するため
条例の一部を改正しました。

※対象は大樹町に住所があり、年度末までに18歳になる者



保護者の
経済的負担を
軽減!!

財産の交換

< 概 要 > ヤンマーアグリジャパン株式会社の土地・建物と町有地の交換を行います。

交換の目的

ヤンマーアグリジャパン株式会社 … 大樹営業所の改築移転先の用地確保

大樹町 … 営業所の移転先が町内となるよう用地を提供
交換により取得する土地・建物を利活用（立地が良く、既存建物は車庫などに利用見込）

	町が提供する財産	町が取得する財産
所 在	柏木町6番地8	柏木町10番地1
地 籍	10,781㎡	3,556.5㎡
価 格	3,234万3,000円	1,244万7,000円
種 類	土地	土地・建物（事務所・工場・倉庫など）

※交換差額の補足として1,736万4,000円をヤンマーアグリジャパン株式会社が支払う

< 討 論 >

播間 章浩 議員

賛成

町が提供する土地は、現在役場職員の臨時駐車場として利用しているが、庁舎外構工事後は利用目的がなくなる。他に柏林公園まつりの臨時駐車場や雪捨て場として利用しているが代替が可能である。既存の事業所が町外に移転しないために財産の交換について賛成する。

杉森 俊行 議員

反対

町が提供する土地は、イベント開催時の駐車場や雪捨て場として必要。町の車庫不足は、雪捨て場の奥に車庫を作ることなどで解消するのでは。また、取得する土地は段差があり国道側からしか出入りができない。これらの理由から、財産の交換について反対する。

< 表決結果 >

※齊藤議長は表決に参加しません

議 案 名	播間章浩	寺嶋誠一	辻本正雄	吉岡信弘	西山弘志	船戸健二	杉森俊行	西田輝樹	安田清之	志民和義	菅敏範	齊藤徹	結 果
財産の交換について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	原案可決

第2回 定例会

議案審議

6月6日～6月9日開催

未来につな 政 策 的

一般会計予算 **11億5,787万2,000円** を追加補正

〔主なもの〕

地域おこし協力隊設置事業

地域協力活動の担い手を増員

今年度運用開始の民間事業者等への研修派遣制度による派遣を含め、地域おこし協力隊を新たに5名任用します。

問 安田 清之 議員
民間派遣は今後どのように進めるのか。

答 伊勢企画商工課長
町内の事業所等で地域おこし協力隊の受け入れ希望があれば計画書を町に提出していただき、審査後は計画書に沿った地域おこし協力隊を募集する。

給食調理事業

多子世帯への支援

10月より大樹小中学校に通う児童・生徒の、世帯2人目以降の給食費を半額助成します。



晩成温泉維持管理費

「晩成の宿」の長寿命化

晩成温泉の宿泊施設「晩成の宿」の屋根や外壁塗装などの大規模補修工事を行います。



水道事業会計予算

250万4,000円 を追加補正

空家対策総合支援事業

空家対策のための新事業

町内にある老朽化した空家の、解体費用の半額（上限50万円）を補助します。



※老朽化した空家のイメージ

商工業振興対策事業

消費喚起と物価高騰対策

生活者への物価高騰の影響緩和、地域における消費の喚起や下支えを目的とするプレミアム付商品券を発行します。

販売予定情報

- プレミアム率：50%
(3,000円で4,500円分を購入できる)
- 販売数量：12,000セット

大樹町漁業振興事業

サクラマスなどの試験養殖を支援

- 養殖魚の生存率向上のため、大樹漁業協同組合が導入する大型いけすの購入費用の一部を助成します。
- 試験養殖に対する助成額100万円を目標に、ふるさと納税による寄附を募ります。

水道事業費用

コンビニ収納対応に向けた準備

水道料金のコンビニ収納対応に必要な印刷費とシステム改修費を増額補正します。

第3回
臨時会

議案審議

5月17日開催

副町長・監査委員の
選任や条例の一部改
正、補正予算など
7件を審議！！

行政報告に対する



質疑と答弁



問 吉岡 信弘 議員
公立高等学校配置計画地域別検討協議会（ウェブ会議）の内容は。

答 沼田教育長
道教委から「今後5年の間に4～5学級程度の学級減の調整が必要である」との見解が示され、それに対し要望等を含めた意見を申し述べた。

<意見・要望の要旨>

- ・ 広すぎる通学圏域を想定した再編が行われると、経済的状况から進学を断念せざるを得ない子どもが出てくる可能性がある。保護者の声を聞き、慎重な対応と丁寧な再編計画を立ててほしい。
- ・ 大樹高校の入学者募集に向け、道教委から具体的な計画を示される予定だが、対応が後手に回らないよう大樹町と大樹高校にタイムリーな情報を提供することを強く要望する。

一般会計予算 1,639万9,000円 を追加補正

〔主なもの〕

行政区会館等維持管理費

コミュニティ活動に必要な備品を整備

宝くじ社会貢献広報事業による「コミュニティ助成事業」を活用し、行政区会館等で使用するテーブル60台、椅子60脚を購入します。

問 菅 敏範 議員
購入した机と椅子はどこで保管するのか。

答 水津住民課長
「勤労者センター」「B&G海洋センター」「北大樹会館」を保管場所として考えている。

新型コロナウイルス対策事業

コロナワクチン春接種開始

新型コロナウイルスワクチンの接種費用など（令和5年春接種1,500件分）を増額補正します。

低所得子育て世帯生活支援 特別給付金事業

物価高騰に対する生活支援

低所得子育て世帯に、児童1人あたり5万円の特別給付金を支給します。

町有地・建物維持管理経費

貸付建物の修繕

南十勝酪農ヘルパー組合に貸し付けている町の建物に、老朽化による雨漏りや外壁破損が発生したため、修繕を行います。



問 安田 清之 議員
建物が古くなると修繕費も上がるが、家賃の見直しがされていない。町の負担とならないようヘルパー組合と協議すべきでは。

答 黒川町長
家賃については協議する必要がある。建物の老朽化が進んでおり、建て替えや廃棄、譲渡などの可能性もあるため、今後の対応も含め協議を進めたい。

令和5年度 町政・教育行政執行方針

町 政



黒川 豊 町長

町ホームページからも
ご覧いただけます



夢を育み学びの意欲を高めるまちづくり

- 大樹高校の魅力向上のための取組を支援
- 町民プールを核としたスポーツ教室の充実

資源を豊かさにつなげるまちづくり

- 公共事業等による飼料基盤の整備
- 農業者が実施する小規模土地改良事業等の支援
- 鳥獣による農林被害の防止対策
- 水産資源の管理や試験養殖等の取組を支援
- 道の駅の魅力向上に向けた協議会を設置
- 空き店舗の活用や魅力ある商店街づくりを支援

人と自然にやさしいまちづくり

- 橋梁や公営住宅等社会資本の整備と長寿命化
- 定住や移住のための新たな分譲地の整備
- コミュニティバス「コスモ」の利便性の向上
- 地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入
- 避難施設や避難路の整備

安心と支えあいのまちづくり

- 不妊治療にかかる費用の一部を助成
- 生活習慣病の発症・重症化の予防対策
- 障がい福祉サービスの相談支援の充実
- 町立病院の医療サービスの向上

交流と協働で進めるまちづくり

- 地域や団体との懇談会の定例化
- 「たいき未来共創会議」* の設置
- 航空宇宙関連企業・実験の誘致
- 地域おこし協力隊の町内民間事業者への派遣
- 既存の観光素材と宇宙を利用した商品の企画開発

※「たいき未来共創会議」…世代や職業などを問わず多様な住民と共に、まちの課題解決に向けた意見を出し合い、新たな魅力や価値を創り上げることを目的とした会議。

教育行政



沼田 拓己 教育長

地域と共にある学校づくり

- 自主財源で2学級編成のための教諭を採用し、細やかな指導の充実
- ICTを活用した「学ぶ楽しさ」「分かる嬉しさ」を実感する授業の実践
- 旬の地場産品を活用した給食の提供と食育指導による健康な体づくり
- 大樹高校の生徒確保と活性化に向けた支援の充実

学ぶ喜びを追求する人づくり

- ライフステージに応じた学習機会の充実と学習成果を地域に活かす環境づくり
- 生涯学習センターのロビーを活用したコンサートや展示会の開催
- 各年齢層や体力に応じてスポーツに親しめる機会や場の充実
- 各種スポーツ大会の支援、全道・全国大会出場選手への助成の継続

令和5年
第3回臨時会で
選任されました



副町長



松木 義行
副町長

監査委員



北林 博美
代表監査委員



辻本 正雄
監査委員

一般質問

7名の議員が9項目について質問

町民の声を町政に届ける

船戸 健二 議員 …… P7

◎子どもの遊べる公園について

播間 章浩 議員 …… P7

◎宿泊施設不足の解消と企業誘致の環境整備について

志民 和義 議員 …… P8

◎住民懇談会の開催について
◎高齢難聴者への補聴器購入助成について
◎農道舗装の促進について

菅 敏範 議員 …… P8

◎高齢者専用住宅等の整備について

西山 弘志 議員 …… P9

◎ごみの新中間処理施設整備について

西田 輝樹 議員 …… P9

◎町長公約について

寺嶋 誠一 議員 …… P10

◎大樹町の空家等対策計画について



◆ 一般質問とは ◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・ 質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は1問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・ 一問一答方式

議員と町長が対面して、1つ質問をして、1つ回答をします。

・ 事前通告

質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・ 登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

YouTubeで議会中継をご覧ください！

一般質問のページに掲載している二次元バーコードから、議員ごとの動画をご覧ください。



ご自宅のスマートフォンやタブレット端末、パソコンなどで気軽に町議会を傍聴できます！

⚠️ ご注意

スマートフォンやタブレット端末等による視聴は、ポケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金を請求される場合があります。Wi-Fi環境下での視聴をお勧めします。

◎チャンネル登録をお願いします！

チャンネル登録すると、ライブ中継が始まった際や新しい動画が公開される際に、通知を受け取ることができます。ぜひご登録ください。

大樹町議会
チャンネル





船戸 健二 議員

詳しい内容は録画映像をご覧ください



質問

公園整備の基本的な考えは

答

協議会を設置し、意見を集約した計画を策定する

Q1 子どもの遊べる公園について

質問 町長の公約における公園整備の基本的な考え方と方向性は。

答 (黒川町長) 現状の公園は、老朽化による遊具更新の必要性と町民ニーズとの相違があると認識している。町民参加の公園協議会を設置し、意見等を集約した計画を策定する予定。財政負担の低減をはかりながら継続的に事業を実施する必要があるため、積極的に交付金等を活用したいと考えている。

質問 保護者や子育て世代の多くは、子どもが遊べる公園の設置を期待しているが、計画から公園完成までの概算のスケジュールは。

答 (黒川町長) 検討内容によって時期は変わってくるが、既存の公園の検討も含めて、みどりの基本計画を2年で策定し、3年目から4年目に完成できればと目論んでいる。

質問 季節や天候に左右されない子どもの室内遊び場について。

答 (黒川町長) 今年度、商工会が町の補助金を活用し、道の駅1階に室内遊び場を設置する。現在、遊具等の選定やレイアウトの検討などの準備を進めている。

質問 道の駅を訪れた人や、買い物と一緒に利用する人は良いが、保護者が期待している遊び場とは違うのではないか。公共施設の有効な活用として、北保育園の跡地が子どもの室内遊び場として最適地だと考えるが。

答 (黒川町長) 施設の維持管理費を含め、既存の公共施設の中に組み込むことができるか検討していく。

意見 みどりの基本計画策定をきっかけに、町内のすべての子どもと保護者が、安心して遊べる公園の整備を目指していただきたい。



播間 章浩 議員

詳しい内容は録画映像をご覧ください



質問

企業誘致のための土地利用について

答

用地やインフラ整備などに協力していく

Q1 宿泊施設不足の解消と企業誘致の環境整備について

質問 大樹町に訪れた方が町内に宿泊してもらってこそ、大樹町の経済効果が高まると考えるが、宿泊施設不足の解消に対する町の考えと今後の取組は。

答 (黒川町長) 宿泊施設不足を解消するためには、民間によるホテル建設を促進し、町として用地やインフラ整備などに協力をしていく必要があると考えている。また、宿泊施設建設のための補助事業についても検討したい。

質問 空いている教職員住宅が10戸ほどであると確認しているが、民泊としての活用もできるのでは。

答 (黒川町長) 利用可能かも含め検討したい。

質問 新たな企業や事業所が進出するための土地が不足しているが、都市計画法の用途地域の拡大・変更についての町の考えは。

答 (黒川町長) 今年度改訂する都市計画マスタープランにおける土地利用は、用途地域の拡大に対応できるように考えており、既定用途地域の変更は当町の実情を示し、道と協議していく。

質問 新たな企業誘致のため国道沿などの農業振興地域の見直しが必要と感じているが、町の考えは。

答 (黒川町長) 住宅や商業施設用地として利用可能な土地の多くが農用地区域であるため、農地以外への転用が認められず、町全体として均衡ある発展に影響を及ぼしている可能性は否定できない。第6期総合計画の策定作業を進める中で、見直しについて検討していく。

※内容を要約して掲載しています。



志民 和義 議員

Q1 住民懇談会の開催について

質問 町長は選挙公約で「対話と共生」を掲げ、懇談会の定例化や「たいき未来共創会議」を設立するとした。懇談会の規模と回数はどう考えているか。また、「町長と語る会」は引き続き実施するのか。

答 (黒川町長) ブロック別の住民懇談会を定例化し、年1回開催する。「町長と語る会」は行政区や団体などから申し込みがあれば、これまでどおり地域に向いて開催する。

質問 「たいき未来共創会議」について。

答 (黒川町長) 世代や職業を問わず、多様な住民と共に、まちの課題解決に向けた意見を出し合い、新たな魅力や価値を創り上げることが目的とした会議で、年2回程度の開催を考えている。

Q2 高齢難聴者への補聴器購入助成について

質問 現在、管内・道内で助成している市町村は。また、大樹町において助成する考えは。

答 (黒川町長) 管内6町、道内18市町村が助成している。引き続き情報収集を進め、助成の必要性や助成方法について検討していきたい。

Q3 農道舗装の促進について

質問 農道整備が進んでいる一方、沿線戸数等、採択要件に満たない場合があるが、要件緩和を働きかける考えは。

答 (黒川町長) 今後も、道との情報共有に努め、要件等について意見交換し、状況に応じて緩和を含めた要望を検討したい。

質問

「まちなか」にサ高住の早期整備を

答

サ高住に限定せず次期計画で検討したい



菅 敏範 議員

Q1 高齢者専用住宅等の整備について

質問 昨年23年ぶりに人口が増えた一方で、多くの高齢者が町を離れている。その対策として、商業施設や医療施設の近くにサービスタキ高年齢者専用住宅を整備すべきではないか。また、転出した高齢者の人数は把握しているのか。

答 (黒川町長) 第8期高齢者保健福祉計画では、民間事業者を活用し整備に努める考えで、平成30年に町内の事業者から建設に向けた提案があり、協議を進めていたが、入居率や家賃の関係で経営は難しいとの判断に至った。

答 (明日見保健福祉課参事) 令和2年から4年までの間に、65歳以上の高齢者54名が転出している。

質問 高齢者が住み慣れた町で安心して暮らせる町づくりのために、第9期高齢者保健福祉計画で、高齢者専用住宅の整備を進めるべきではないか。

答 (黒川町長) サービスタキ高年齢者住宅に限らず、どのような住宅の整備が可能なのか考えていきたい。

質問 今後、要介護認定者が増えることが想定されるが、特別養護老人ホームの増床の考えは。

答 (黒川町長) 現時点では、増床計画はないが、今年度、介護保険事業計画の見直しを行い、地域の実情に応じた施設や在宅サービスの整備を検討する。

質問 介護タクシーの整備や民間事業者に対する助成を検討してはどうか。

答 (黒川町長) 管内の医療機関へ通院した場合、利用料金の半額を助成しているが、いずれも町外の事業者であり、町内の事業者は実施していない。

質問

答

質問



西山 弘志 議員

詳しい内容は録画映像をご覧ください



質問

答

町分担金約14億円 なぜ管内で5番目に高いのか

大樹町の過去5年間のごみ排出量から推計し、算出した数値のため

Q1 ごみの新中間処理施設整備について

質問 総事業費611億円、大樹町の分担金は14億円であるが、今後の社会・経済情勢により金額が上乗せされ、さらに町の分担金が増加することが考えられるが。

答 (黒川町長) 令和5年に基本計画で示された総事業費611億円は一定の査定を行ったうえで、昨今の経済情勢を考慮し、上昇を見越して算出した概算総事業費であり、入札の段階では分担金の増加はないと聞いている。

質問 大樹町の人口数は管内19市町村のうち12番目だが、分担率2.25%は管内で5番目に高い。
2.25%となった経緯は。

答 (黒川町長) 分担率は、平成27年から令和元年までの南十勝環境衛生センターに持ち込まれた大樹町のごみの量を基に、十勝管内全体のごみの量から按分し、令和10年度から令和14年度のごみの排出量の推計値から算出された。

質問 今後、分担率を下げるため、食品ロスや生ごみの水分削減、分別排出ルールの周知を徹底するなどの取組が必要と考える。また、家庭から出る生ごみの減量を目的に、生ごみ処理機の購入助成を始めた町村もある。町民一人ひとりのごみに関する意識改革のため、住民懇談会を開催する考えは。

答 (黒川町長) ごみの減量化は非常に大事なことだと思っており、町の広報紙でも、毎月のようにゴミの分別をお願いしている。
懇談会の開催は今後検討する。



西田 輝樹 議員

詳しい内容は録画映像をご覧ください



質問

答

積極的な町長公約の実現を

できることから速やかに取り組む

Q1 町長公約について

質問 町長公約の基本的な考え方について。

答 (黒川町長) 「町民の暮らしを守り、安全・安心のまちづくりの推進」「産業の振興と活力あるまちづくりの推進」「地域を支え挑戦する人を育む環境の整備」「ゼロカーボンシティの実現など未来に向けた大樹循環型地域社会の形成」「対話によるまちづくりの推進」「民間ロケット打上げ射場の整備をはじめとする北海道スペースポートの展開と、航空宇宙や大樹の自然、食を活かした観光や企業誘致の推進」の6項目をお示しさせていただきました。

質問 最重要公約や優先執行公約について。

答 (黒川町長) 現在も進行中の事業や、達成までに長い年月を要する事業もあるが、すべて不可欠な事業と考えている。実現に向けてできることから速やかに取り組んでいく。

質問 対話重視の町政について。

答 (黒川町長) 「町長と語る会」やブロック別の住民懇談会の定例化、新たに大樹の未来像を描く「たいき未来共創会議」を設置し、対話によるまちづくりを積極的に進めていく。

質問 公約の進捗状況の公開について。

答 (黒川町長) 管内の市町村でも、公約の進捗状況を自治体のホームページや自らのホームページで公開していることは承知している。
私自身の公約の進捗状況についても、町民の皆さまにお知らせする機会を設けていく。

※内容を要約して掲載しています。



寺嶋 誠一 議員

詳しい内容は録画映像をご覧ください



空家活用促進区域の指定による建物制限の緩和について

質問

答

地域住民の合意が必要であり慎重に対応する

Q1 大樹町の空家等対策計画について

質問 令和3年度実施の空家調査における「40年以上経過・放置された空家」の町内分布状況は。

答 (黒川町長) 建設から40年以上経過した空家は、67件確認しており、そのうち令和5年5月までに4件が解体され63件となっている。

質問 この調査は、対象地域が町内全域となっているが、郊外の調査結果に疑問がある。空家バンクの活用となる重要なデータベースとなるが、今後、どのように調査を実施するのか。

答 (奥建設水道課長) 令和3年度の調査は幹線道路から目視で実施した。今後は必要に応じ、町内全域を細かく実施する。

質問 「第1種低層住居専用地域」における空家力フエ等の利活用について。

答 (黒川町長) 改正法案では、空家活用促進区域内において都市計画法と建築基準法上の用途地域における建築制限を緩和できるとされ、特例許可等の手続きが必要となる。特例による規制緩和は、地域住民の合意形成を慎重に行う必要がある。現在把握している町内空家の約75%は、建設から40年以上経過した旧耐震基準の建物であることから、今のところ空家活用促進区域の指定による緩和の考えはなく、既定の用途地域内の活用に向け検討する。

質問 管理不全空家の指定による税制の優遇措置について。

答 (黒川町長) 管理不全空家に指定された場合は、特定空家と同様に改正法案に基づき、固定資産税の住宅用地特例の対象から外れる。

高校生議会に向け議会を傍聴

6月8日、大樹高校の3年生23名が「総合的探究の時間」の授業の一環で、一般質問を傍聴しました。

高校生は、傍聴人数の定員の関係から、議場での傍聴と会議室でのモニター傍聴を交代で行い、議会の雰囲気の間近に感じながら、議員の質疑と町長の答弁のやりとりに熱心に耳を傾けていました。

なお、高校生議会は10月に開催を予定しています。



議会傍聴の感想

町議員の方が大樹町のために議論している様子を見て、感謝の気持ちとともに、私達にも何かできることはないかという気持ちになりました。

かまだ ここな
大樹高校3年 鎌田 心菜 さん

初めて一般質問を傍聴させていただきましたが、どのような質問がきても答えられるようにたくさんの回答を準備していることがわかりました。

ひろせ せりな
大樹高校3年 廣瀬 芹菜 さん

多くの人が一丸となって町のために話し合う姿勢が素晴らしいと感じました。住民側の私達も意見や提案をできたらと思います。

まつだ れいな
大樹高校3年 松田 玲奈 さん



一目でわかる 審議結果

全会一致の議案

第3回臨時会	副町長の選任について	同意
	副町長に松木 義行氏を選任することに同意しました。	
	監査委員の選任について	同意
	監査委員に北林 博美氏と辻本 正雄氏を選任することに同意しました。	
	大樹町税条例の一部改正について	原案可決
	地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、条例の一部を改正しました。	
第2回定例会	大樹町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
	国民健康保険法施行令の一部を改正する政令等の公布に伴い、条例の一部を改正しました。	
	令和5年度大樹町一般会計補正予算（第1号）について	原案可決
	歳入歳出それぞれ1,639万9千円を追加し、予算の総額を71億9,039万9千円としました。	
	工事請負契約の締結について	Point! 5,000万円以上の工事請負契約の締結は議会の議決が必要です!
	北海道スペースポート整備事業に係る工事のうち、LC-1射場・滑走路延伸土木工事の請負契約を7億3,920万円で締結しました。	原案可決
第2回定例会	令和4年度大樹町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告済
	令和4年度大樹町一般会計から4億4,602万5千円を翌年度に繰り越しました。	
	令和4年度大樹町水道事業会計予算繰越計算書について	報告済
	令和4年度大樹町水道事業会計から1,252万2千円を翌年度に繰り越しました。	
	人権擁護委員の候補者推薦について	適任
	委員に太田 勝義氏を再任することに同意しました。	
	大樹町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
	委員に角倉 和博氏を選任、宮原 章夫氏を再任することに同意しました。	
第2回定例会	大樹町農業委員会委員の任命について	同意
	委員14名を任命することに同意しました。	
	大樹町乳幼児及び児童医療費助成に関する条例の一部改正について	原案可決
10月1日より子どもの医療費助成対象を満18歳まで拡大するため、条例の一部を改正しました。		
第2回定例会	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
	学童農業研修センター（晩成の宿）の大規模修繕を行うため、産業振興施設として総合整備計画に追加しました。	

次のページへ続く

第2回定例会	令和5年度大樹町一般会計補正予算（第2号）について	原案可決
	歳入歳出それぞれ11億5,787万2千円を追加し、予算の総額を83億4,827万1千円としました。	
	令和5年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）について	原案可決
	歳入歳出それぞれ55万円を追加し、予算の総額を6億9,555万円としました。	
	令和5年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
	歳入歳出それぞれ192万8千円を追加し、予算の総額を6億9,742万8千円としました。	
	令和5年度大樹町水道事業会計補正予算（第1号）について	原案可決
	収益的支出の予定額を5億3,207万8千円としました。	
令和5年度大樹町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号）について	原案可決	
資本的収入の予定額を6,546万2千円、資本的支出の予定額を6,681万2千円としました。		
財産の取得について	Point! 予定価格700万円以上の財産の取得は議会の議決が必要です！	原案可決
給食調理用の電気式スूपケトル3台を1,006万3,350円で購入することとしました。		
財産の交換について		原案可決
ヤンマーアグリジャパン株式会社の土地・建物と町有地の交換を行うこととしました。		

次の定例会は 9月です

ぜひ気軽に傍聴にお越しください

詳細は議会事務局へお問い合わせください

TEL 6-5035

請願・陳情は どなたでもできます

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、国や町の事務などに関する請願・陳情を処理することとなっています。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として公の機関に対し、要望する行為で、紹介議員が必要となります。陳情も同様に扱われますが、紹介議員は必要ありません。

広報広聴常任委員会



委員長 播間 章浩
副委員長 船戸 健二
委員 菅 敏範
委員 西山 弘志
委員 吉岡 信弘
委員 寺嶋 誠一

編集後記

今定例会では黒川町長から町政執行方針が示され、5つの基本目標と未来につながるまちづくりに対する思いが述べられました。
不安定な社会情勢や、長期化したコロナ禍からの脱却、安心・安全な暮らしの確保が急務となっています。
黒川町長と新しい議会体制が両輪となり、皆さまの期待に応えられるよう努めていきたいと思えます。

副委員長 船戸 健二